

「見守りあんしんくん+eye」の開発

①背景

・年々増加する要介護（要支援）認定者数の中でも、特に、要介護度1・2の対象者（身体は健康だが認知症がある）が急増している。その為、病院や介護施設等では、夜間徘徊への対応が介護士、看護師の大きな負担となっている。

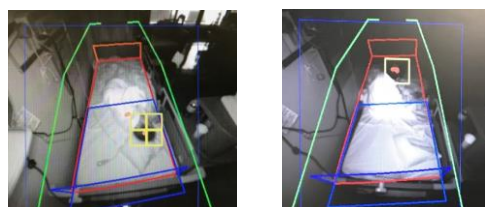
②目的・概要

・従来の徘徊防止装置に比べ、誤動作もなく常にシステムが患者を見守ることで転落の危険・徘徊を早期発見し、介護士・看護師の負担軽減ができる。

③「見守りあんしんくん+eye」について

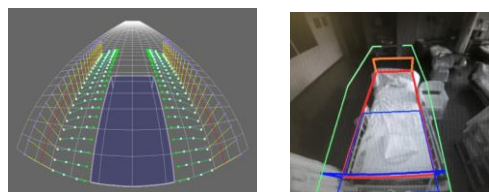
1.頭を追尾して装置が状態を判断し、転落の危険性も事前に察知！

- ・自動車の自動ブレーキシステムで導入されている「人の認識技術」を採用。
- ・確実に動きを判断して、転落の危険予知と徘徊をお知らせ。



2.ベッドを自動認識！（特許を取得済）

- ・ベッド領域を自動で認識するので、介護士や看護師が患者に対応する際にベッドを動かしても再認識。



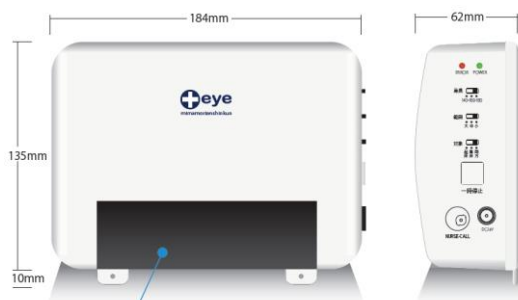
※ 実際の装置では、プライバシー保護の為に画像の閲覧はできません。

見守りあんしんくんセンサーが変化を検知するとナースコールやスマホでお知らせ！



3.介護士、看護師の声

- ・操作が簡単で、ストレスにならない！
- ・装置の状態が一目で判断できるので、安心！
- ・装置の移動が簡単にできるので、徘徊防止率UP！



人感センサー

赤外線センサーで明暗に関係なく夜間にも対応。ベッドを自動で検出し見守りエリアを設定。

- ・本体サイズ：幅184×高さ135×厚み62mm
- ・重さ：800g
- ・シングルベッド対応（標準ベッドサイズ：1950×850×450mm）
- ・使用電力：DC24V3A

【お問合せ先】